



新年あけましておめでとうございます。

2021年10月、パシャイ代表がイランに渡航し現地活動を約2年ぶりに再開！
イランキャラジ市行政機関・NGO・障害当事者と協力体制をつくっています。
皆様と協力して「イランミントセンター」を開設したい。ご支援お願いいたします。

活動報告

イラン「イランの障害者デイケアセンター支援事業」(日本国際協力財団、成長型助成事業)

<ミントリハビリセンター開設に向けた活動の進捗状況と将来に向けた活動>

- ・イラン内務省のNGO登録は完了済。アルボルズ州福祉省にミントリハビリセンター開設申請中
- ・登録完了後、センターの場所づくり、スタッフは看護師・リハビリ医師・PT・事務を配置・物品購入と機材設置
- ・ミントの会や市民が協力し、小さいながらもみんなが行ってみたい、やってみたい「場所」づくりを行います。
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインのモデルセンターになるといいな～
センターの誕生を心待ちにしている人がたくさんいます！！

アルボルズ福祉省担当者と確認作業



イラン「障害児デイサービス支援事業」

(生協総研、アジア生協協力基金事業)
障害児デイサービス「アフターブ」でコロナ対策(手洗いチェッカー・検温など)けん玉も初めて体験してみました。



❀ イランの障害者たちの生活は、
日本から届けた新しいタイヤに変えて安心して街歩き。(左)
アフガン人男性は自分用の車いすを使えるようになりました。(右)



❀ 日本の障害者からいただいた車いすとクッションは、
自分が使わなくなったものですが、イランの障害者に安心して
使えるように、メンテナンスして渡していただきました。



ミントの会と日本の特別支援学級教師とアフターブのバファル氏がオンラインで障害児教育の情報交換を定期的実施

神奈川県内「県内イラン人の多文化共生チャレンジ事業」(かながわ国際交流財団 民際基金助成事業)

＜ミントオリジナルカレンダー・介護エプロン作り・ボッチャ体験・多文化共生料理講座＞

イランの生活を写真で伝え、料理やスポーツで外国人と楽しく交流、障害者用のエプロンを作り届けました。

仲間と話をしたり一緒に楽しむ機会が少なかった中、お互いをいたわりあう気持ちを強め、元気を頂きました。



イラン「イランのバリアフリー支援事業」(JICA 草の根技術協力事業)



12/13 キャラジ市の市役所担当者と車いすを利用中の障害者が一緒に、街歩きを行いながら、ベヘシティ通りのバリアフリー歩道整備点検を実施。定期的にバリアフリーネットワーク会議を実施して、道路工事関係者を巻き込みバリアフリーの情報交換。バス停は今後も検討していく予定です。イランの障害啓発用のDVD はイラン全土で利用され、わかりやすいと好評！



11/20 SDGs よこはま city 秋のオンラインイベントに参加・・・「アジアにおける理学療法技術支援の経験とイランにおけるミントリハセンター設立の意義」理学療法士の土屋氏が講演。日本の知識や技術を伝えることの重要性を再認識しました。



ミントの会のホームページ



ミントの会紹介ページ



紹介動画 前編 <https://youtu.be/C3u13aFBV1o> 後編 <https://youtu.be/f9WBYpT0g1o>

SDGs よこはま city 冬 オンライン

「誰もが、ゲストスピーカー」参加者予定

日時:2022年2月20日(日)10:00~17:00

主催:よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム

かながわボランティアフェスタ

日時:2022年3月6日(日) 参加検討中

NPO イランの障害者を支援するミントの会 連絡先 TEL 080-3496-3423

e-mail mint_assist@yahoo.co.jp URL www.mint-assist.com (日本語)

www.mint-assist.ir (ペルシヤ語)